

平成14年11月12日

各位

会社名 アールピバン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳
 (登録銘柄 コード番号7523)
 問合せ先 総務部長 二宮 伸夫
 (TEL 03 - 3407 - 3371)

平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)
 中間業績予想との差異及び有価証券評価損の発生について

平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)の業績予想について、平成14年5月17日付決算短信発表時の当中間期(平成14年4月1日~平成14年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成15年3月期の中間連結業績予想の修正等

(1) 当中間期(平成14年4月1日~平成14年9月30日)連結業績予想との差異

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	6,900	900	450
今回修正(B)	6,780	1,010	10
増減額(B-A)	120	110	440
増減率	1.7%	12.2%	97.8%

(2) 修正理由

売上高については、個別業績修正等により6,780百万円になる見込みです。

経常利益については、個別業績修正等により1,010百万円になる見込みです。

当期利益については、個別業績修正等により10百万円になる見込みです。

(3) ご参考:前期の連結実績(平成13年4月1日~平成14年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
中間期(13/4~13/9)	7,121	1,204	421
通期(13/4~14/3)	13,780	1,863	423

2. 平成 15 年 3 月期中間業績予想の修正等

(1) 当中間期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日）業績予想との差異

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 (A)	4,800	200	100
今 回 修 正 (B)	4,650	230	290
増 減 額 (B - A)	150	30	390
増 減 率	3.1%	15.0%	-

(2) 修正の理由

売上高については、個人消費の回復感が乏しいなか、地方都市会場での小型催事の売上不振等の理由により 4,650 百万円と減収となる見込みです。

経常利益については、売上高の低迷により催事のコストパフォーマンス重視による効率化を図り会場費、広告宣伝費等の圧縮や人件費の抑制に努め 390 百万円経費削減により 230 百万円となる見込みです。

当期利益については、有価証券評価損 453 百万円の特別損失計上等もあり、290 百万円となる見込みです。

(3) ご参考：前期の実績（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
中 間 期 (13/4 ~ 13/9)	5,674	488	51
通 期 (13/4 ~ 14/3)	10,509	761	83

（注）平成 15 年 3 月期の通期業績予想の発表は、中間決算発表時（平成 14 年 11 月 19 日予定）にお知らせします。

3. 有価証券評価損について

(A) 平成 14 年 9 月中間期末の有価証券評価損の総額	453 百万円
(B) 平成 14 年 3 月期 純 資 産 額	15,876 百万円
(A / B × 100)	(2.9 %)
(C) 平成 14 年 3 月期 経 常 利 益 額	761 百万円
(A / C × 100)	(59.5 %)
(D) 平成 14 年 3 月期 当 期 純 利 益 額	83 百万円
(A / D × 100)	(545.8 %)

（ご参考） 当社の決算期末は、3月31日であります。

以 上